

資 料 配 付
独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所

配 付	平成 2 2 年 6 月 8 日
日 時	1 1 時 0 0 分

件 名	たかやま 高山ダム下流の河川環境に配慮した放流試験の実施について
-----	-------------------------------------

概 要	<p>独立行政法人水資源機構高山ダムでは以下の日時に、最大毎秒約 40 立方メートルの水をダム下流に流す「河川環境に配慮した放流試験」を実施します。</p> <p>平成 2 2 年 6 月 1 0 日(木) 9 時 3 0 分～12 時 3 0 分</p> <p>高山ダムでは平成 1 4 年度より、ダム下流の河川環境に配慮した放流試験を実施してきています。</p> <p>この放流試験は、ダムからの放流量を一時的に増加させ、川石に付着している古い藻類の剥離・更新等を促すことにより、河川環境の改善を目指すものです。</p> <p>今回の放流試験により、ダム下流では、徐々に水位が上昇しますので、注意してください。</p> <p>なお、放流試験実施日の前日及び当日に出水が予想される場合や、濁水等の場合には放流試験を中止します。</p>
-----	--

同 時 配 布	学研都市記者クラブ（京都新聞、朝日新聞、産経新聞、毎日新聞、読売新聞、KBS 京都放送、NHK 京都放送局、奈良新聞、日本経済新聞、日刊工業新聞）
---------	---

問い合わせ先	独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所 高山ダム管理所 所長 小原 茂美（こばら しげみ） 電話 0743-94-0201
--------	---

高山ダムにおけるダム下流河川環境に配慮した放流試験について

1. 日時

平成22年6月10日（木） 9時30分～12時30分（予定）

※なお、放流試験実施日の前日及び当日に出水が予想される場合や、濁水等の場合には放流試験を中止します。

2. 河川環境に配慮した放流試験により期待される効果

- ①川の中の石に付着している古い藻類が剥がれて、新しい藻類（魚類等のえさ）ができること。
- ②少ない水の量では、川の一部によどみができてしまうため、よどみを流して川をきれいにする。

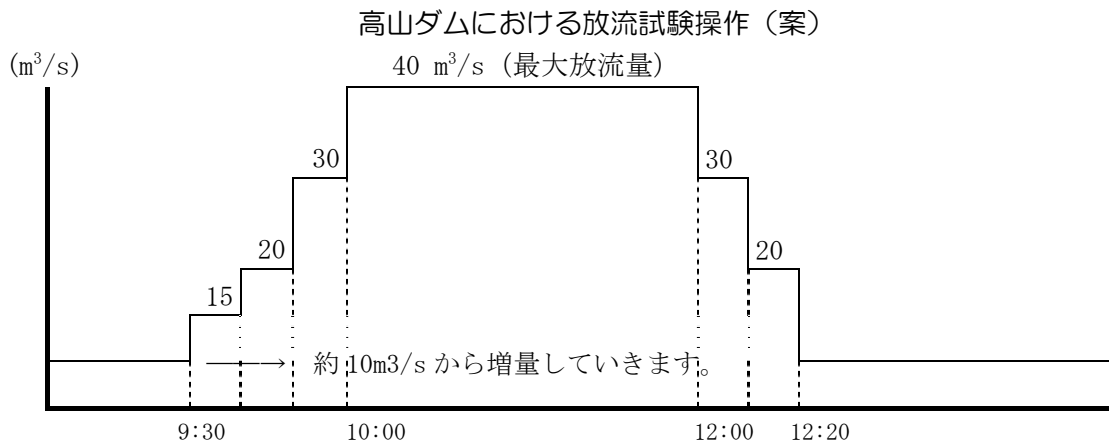
3. 放流試験の概要

①現況

現在、高山ダムでは、洪水調節の容量を確保するため洪水貯留準備水位（標高117.0m）に向けて、ダムから放流を実施して水位を低下させております。今回の放流試験は、この水位低下操作の一環として実施するものです。

②放流試験の内容

- ・ダムから流す水の量：最大で毎秒約40立方メートル
 - ・最大の水を流す継続時間：約2時間
 - ・放流する水量：約252,000m³
- ※ダムから流す水の量を増やすときは、ゆっくり増やしていきます。



- 1) 9時30分から徐々に放流量を増やし、最大毎秒約40m³を約2時間継続します。
- 2) その後、20分程度で元の流量に戻します。

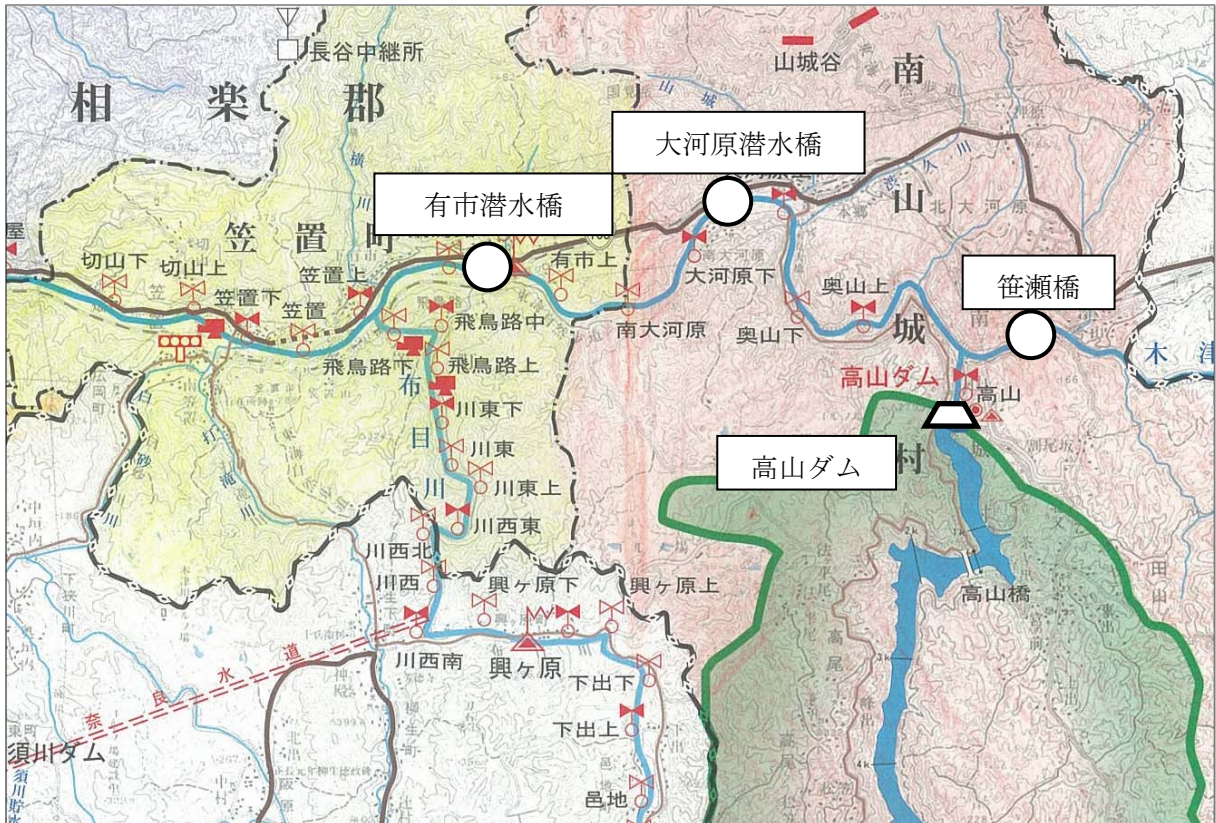
③調査項目

④に示す調査地点において、以下の項目を調査します。

- 1) 河川流況調査（水位上昇量、流況撮影）
- 2) 水質調査

④調査地点（下図参照）

- (1) 大河原^{おおかわら} 潜水橋 (2) 有市^{ありいち}潜水橋 (3) 笹瀬^{ささせ}橋（水質調査のみ）



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したもの（平18総複、第58号）を転載したものである。」

⑤ダム下流河川の水位の上昇予測について

今回の放流試験によって、ダム下流の木津川では、次のとおり水位が上昇することが予想されますので、注意してください。なお、放流試験時は河川利用者の安全確保のため、河川巡視を行います。河川利用者の方には、河川から出ていただくことをお願いする場合がありますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

- 1) 大河原潜水橋地点：最大で約 30cm 上昇（10 時 30 分～12 時頃）
- 2) 有市潜水橋地点：最大で約 30cm 上昇（11 時～13 時頃）

たかやま

高山ダム概要

1. 目的

1) 洪水調節

ダム地点における計画高水流量 3,400m³/s のうち 1,600m³/s を貯留し、1,800m³/s を放流して調節し、木津川の洪水防御とともに淀川本川の高水流量を低減する。

2) 河川の流水の正常な機能の維持

青蓮寺ダムとあわせて木津川筋沿岸の既成農地 3,300ha 既得用水として、最大 4.8m³/s を補給するとともに、下流河川の正常な機能を維持する。

3) 水道用水

阪神地区の水需要に対応して最大 5m³/s の水道用水を供給する。

4) 発電

最大出力 6,000KW の発電を行う。(関西電力)

2. 諸元及び管理施設の概要

所在地： 〒619-1421 京都府相楽郡南山城村田山字ツルギ4 3

貯水池	流域面積	615 km ²	
	湛水面積	2.6 km ²	
	湛水延長	14.6 Km	
	平常時最高貯水位	EL. 135.00 m	
	洪水貯留準備水位	EL. 117.00 m	洪水期：6/16～10/15
	最低水位	EL. 104.00 m	
	総貯水量	56,800,000 m ³	
	有効貯水量	49,200,000 m ³	
ダム	河川名	淀川水系 名張川	
	位置	右岸 京都府相楽郡南山城村大字田山	木津川合流点より 500m上流
	〃	左岸 京都府相楽郡南山城村大字高尾	
	形式	アーチ重力式コンクリートダム	
	堤頂長	208.7 m	
	堤高	67.0 m	
	堤体積	213,900 m ³	
放流設備	常用洪水吐ゲート	ラジアルゲート 4門	最大放流量 1,800m ³ /s
	非常用洪水吐ゲート	ローラゲート 6門	最大放流量 3,000m ³ /s
	低水管理用放流設備	ホロージェットバルブ 1門	最大放流量 37m ³ /s

過去の放流試験実施状況（高山ダム）



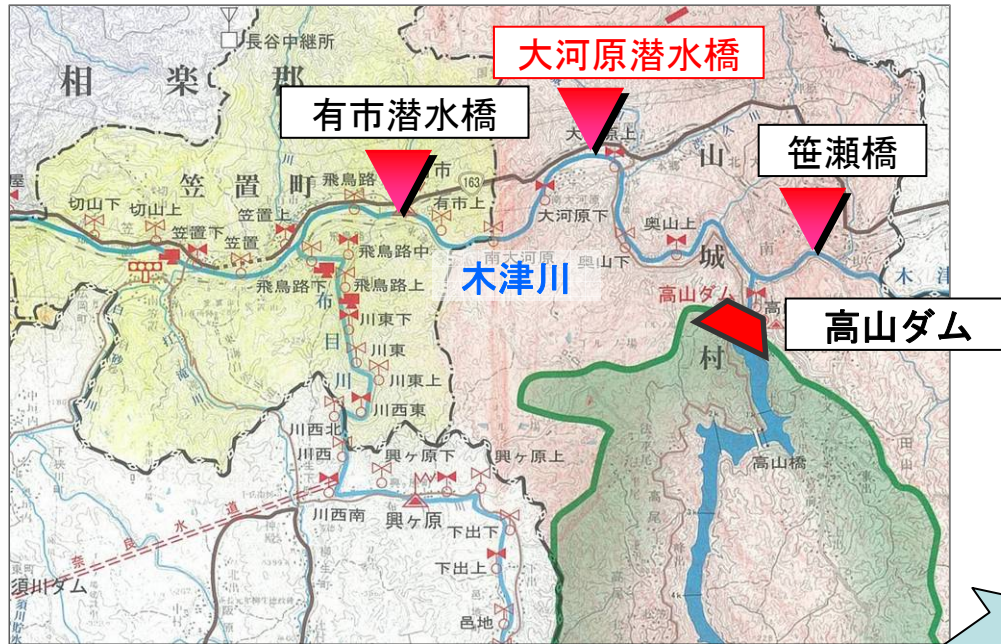
（下流より撮影）



（右岸より撮影）

最大約40m³/s 放流状況

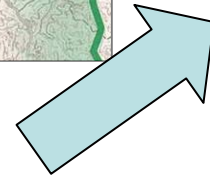
過去の放流試験実施状況（大河原潜水橋）



位置図



放流中（最大放流量到達時）

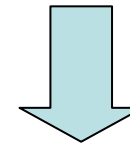


放流前

【水位上昇】
最大約30cm



放流量低減時



過去の高山ダムフラッシュ放流前後の河床状況

高山ダムでは、ダムからの放流による流水の増加によって、攪乱を起こすことにより、藻類をリフレッシュさせるとともに、河床に蓄積した物質を剥離させ、河川に生息する魚などの生物にとって良好な環境への改善をめざして、フラッシュ放流を実施しています。

フラッシュ放流前後の河床の状況（有市潜水橋付近）



【フラッシュ放流前】

石の表面は茶褐色で、細粒な物質（シルト・粘土や付着藻類）に覆われていました。



【フラッシュ放流後】

石の表面や河床の礫が明瞭に見られるようになりました。